

敦賀市教育委員会
教育長 上野 弘 様

敦賀市社会教育委員の会
委員長 徳本 達之

提 言 書

－日本遺産（鉄道遺産ストーリー）と郷土愛の醸成について－

<はじめに>

令和6年春の北陸新幹線敦賀開業を目前に控え、行政をはじめ多くの関係者によってハード面での整備が進められている。あわせて、令和2年6月19日に「海を越えた鉄道 ～世界へつながる鉄道のキセキ～」が日本遺産に認定され、多くの観光客を迎え入れるソフト面での準備が急がれる時を迎えている。

日本遺産の認定は、地域に点在する遺産を「面」として活用し発信することで、地域活性化を図ることを目的としており、観光振興による地域活性化策とともに、敦賀市民が「鉄道と港のまち敦賀」の魅力を学び、郷土愛を育む社会教育による地域活性化策が必要であると強く認識している。観光振興を市外の観光客に向けた取組と捉えるならば、郷土愛の醸成は市民（未来をつなぐ子どもたちも含む）に向けた取組と捉えることができ、車の両輪として機能させることで、より良い地域活性化につなげていきたいと考える。

そこで、敦賀市社会教育委員の会では、「鉄道遺産の歴史と文化のストーリー」を、一過性の話題とするのではなく、日本遺産認定の目的である地域活性化に対して、社会教育がどのような役割を果たすことができるのかという課題意識を持ち、令和2年度・3年度の2年間、「日本遺産（鉄道遺産ストーリー）と郷土愛の醸成」をテーマに掲げ、自主研究を進めてきた。

敦賀は古くから港が発達し日本海側の交通の要衝として栄えるとともに、140年前の明治15年に日本海側で初めて鉄道が開通し太平洋側と結ばれたまちである。さらに欧亜国際連絡列車が開業し海を越え世界へ通じてきたことにより、人道の港としての歴史と鉄道遺産を持つ「鉄道と港のまち」ともいえる。日本遺産に認定された鉄道遺産ストーリーは、有形・無形の文化財群をつなぎ、地域の歴史的魅力や特色を通じて敦賀の文化・伝統を語る一大物語として、日本国内のどこにも引けを取らない壮大で奥深い歴史的事実である。今回の日本遺産認定と北陸新幹線敦賀開業を機に市民の意識や関心を高める取組とし、市民や子どもたちが「鉄道と港のまち敦賀」を誇りに感じて発信できるよう、またおもてなしの気運を高めていけるようにしていきたい。

そこで、これまで自主研究として行ってきた日本遺産認定までのアプローチや鉄道遺産の魅力についての研鑽、現地視察等を踏まえて、下記のとおり提言をまとめた。

記

<提 言>

- 1 日本遺産（鉄道遺産ストーリー）を学ぶ講座を開講すること。
- 2 鉄道遺産ストーリーを学ぶきっかけとなるデジタルコンテンツを整備すること。
- 3 「鉄道と港のまち敦賀」を「面」として学べる環境(モデルコース等)を整備すること。
- 4 日本遺産のインフォメーションセンターを金ヶ崎緑地休憩所に常設すること。

<提言内容の補足説明>

1 ふるさとの魅力発見講座の実施 —日本遺産（鉄道遺産ストーリー）を周知する— <ねらい>

- ・できるだけ多くの市民に日本遺産認定について周知し、「鉄道と港のまち敦賀」の魅力を語れる市民の広がりを図る。

<留意点>

- ・座学とともに、現地（モデルコース等）での学びを取り入れる。
- ・公民館を中心とした会場での実施を目指し、多くの方や児童生徒が参加できるよう配慮する。

2 デジタルコンテンツの立ち上げ・集約・整備 —より多くの人への発信につなげる— <ねらい>

- ・日本遺産（鉄道遺産ストーリー）を学ぶきっかけ・入口となるようデジタルコンテンツを立ち上げ集約することで、多くの人が学びやすい学習環境を作る。

<留意点>

- ・学びたい人の立場に立って、関係機関が紹介している資料やデジタルコンテンツ、動画等ができるだけリンクし集約する。
- ・【生涯学習・社会教育・講座】に日本遺産（鉄道遺産の歴史と文化のストーリー）の学習支援コンテンツを立ち上げる。

※参考資料：「記憶の旅へ（長浜・敦賀・南越前町）福滋県境 鉄道遺産回廊 周遊ガイドブック、長浜市・敦賀市・南越前町近代化遺産マップ」《敦賀市観光交流課》
「鉄道と港のまち敦賀パンフレット・リーフレット」《敦賀市観光交流課》
「つるがの鉄道と港の夜明け物語（観光パンフレット）」《（一社）敦賀観光協会》等

※動画：「海を越えた鉄道～世界へつながる鉄道のキセキ～（動画）」
《NPO 法人「THAP」制作》

3 「面」として学べる環境（モデルコース等）の整備 —現地への道筋をつける— <ねらい>

- ・地域に点在する日本遺産となったストーリーの構成文化財とともに、他の文化遺産（地域資源）も含めて結び、現地への道筋をつける。

<留意点>

- ・敦賀まるごとミュージアムを構想し、関係機関が協働連携して「点」から「面」へとつなぐ。
- ・案内板の設置やAR等の技術、マップやパンフレットの開発等も含めたモデルコース等を開発し、事業化する。

<参考>

※まち歩き・日本遺産巡り（敦賀まるごとミュージアム構想）
まち歩きコース 敦賀港周辺・景観コース 敦賀・長浜鉄道資料館巡りコース トンネル群
巡りコース 等

※エコツーリズムの考え方（自然環境や歴史文化を体験し学び、観光客に伝えることで、保全につながっていくことを目指し、未来への遺産として引き継ぎながら地域が活性化されていく）
を活かす。

<参考>

※まるごとミュージアムとは、まち全体が「ミュージアム」との考え方。地域に点在する文化財や地域資源、自然等を結び巡る。徒歩の他、バスやサイクル等を活用し、現地へ導く。

※ARとは、「拡張現実感 (Augmented Reality)」の略。カメラで撮影した現実の映像に文字や画像などの情報を重ねて表示する手法で、風景に合わせて道案内や商業施設の情報を表示して、現場で楽しむことができる。（例：敦賀港レトロ浪漫ARアプリ・・・敦賀市観光交流課）

4 インフォメーションセンター設置 ー日本遺産に特化した情報館の役割を担うー ＜ねらい＞

- ・市民が日本遺産のストーリーを「面」として学べる場所として、観光客が「鉄道と港のまち敦賀」を巡るスタート地点・中継点として立ち寄れる場所にする。

＜留意点＞

- ・鉄道遺産ストーリーとともに北前船ストーリーを紹介し、金ヶ崎緑地休憩所のある場所は北前船寄港地であり、陸路と海路との交通結節点であることをPRする。
- ・モデルコースやマップ、動画等を紹介する。
- ・県や市関係各課の理解と協力が必要。

※参考例：「今庄まちなみ情報館」

「小浜市鯖街道ミュージアム」「熊川宿 漫画で知る鯖街道ミュージアム」等



「今庄まちなみ情報館」

＜敦賀市社会教育委員の会 令和2・3年度自主研究経過報告＞

《令和2年度》

ー令和2年6月19日に「鉄道遺産ストーリー」が日本遺産に認定ー

「海を越えた鉄道 ～世界へつながる 鉄道のキセキ～」のストーリー

・7月14日（火） 「第1回社会教育委員の会」

- ・平成30年度・令和元年度の自主研究の取組やこれまでの自主研究テーマについて説明

（7月…自主研究のテーマ設定に向けてのアンケート実施）

- ・「社会教育の課題」「敦賀市の社会教育で必要なこと」「自主研究テーマにしたいこと」

・10月1日（木） 「第2回社会教育委員の会」

・アンケート集計結果報告（キーワード）

「社会教育の課題」…地域に対する関わりの希薄化

「敦賀市の社会教育で必要なこと」…敦賀を知ること、郷土愛の醸成
幅広いネットワーク、協働連携

「自主研究テーマにしたいこと」…親子の参加、人づくり

敦賀の魅力を認識・発信、オンライン

- ・日本遺産（鉄道遺産ストーリー）をもとに郷土愛の醸成を図ることを自主研究していく方向で共通理解を図る。

- ・ 11月27日（金） 「第3回社会教育委員の会」
 - ・ 研修①…人道の港敦賀ムゼウムの見学
 - ・ 研修②…鉄道遺産ストーリーが日本遺産認定になるまでのアプローチ
講師：市観光交流課主事
 - …鉄道遺産ストーリーの魅力について（動画「D51北陸の難所に挑む」も含む）講師：観光ボランティアガイドつるが会長
- （12月…研修を受けての感想・意見の集約）
- ・ 2月17日（水） 「第4回社会教育委員の会」
 - ・ 研修を受けての感想・意見の集約報告
（話し合いの取りまとめ）
 - ・ 各公民館や各団体と連携しながら出前講座の実施を検討してはどうか。
 - ・ オンラインや動画を活用するとよいのではないか。
 - ・ 市民や児童生徒の手元に日本遺産（鉄道遺産ストーリー）の資料を用意 等

《令和3年度》

- ・ 7月15日（木） 「第1回社会教育委員の会」
 - ・ 自主研究テーマの確認「日本遺産（鉄道遺産ストーリー）と郷土愛の醸成」
 - ・ 1年間のスケジュールの提示
- ・ 10月11日（月） 「第2回社会教育委員の会」
 - ・ マイクロバスで現地視察～長浜市・敦賀市・南越前町の鉄道遺産～
（11月…現地視察の感想・意見の取りまとめ）
- ・ 12月23日（木） 「第3回社会教育委員の会」
 - ・ 現地視察の取りまとめをもとに、提言にどう反映させるかを意見交換
- ・ 1月13日（木） 「提言作成のための企画会①」
- ・ 2月9日（水） 「提言作成のための企画会②」…オンライン会議
- ・ 2月15日（火） 「第4回社会教育委員の会」…書面で意見集約
 - ・ 令和2・3年度「提言書」（案）の最終検討
- 3月15日（火） 令和2・3年度研究成果の提言書提出

敦賀市社会教育委員 名簿

（令和2年度）

徳本 達之	藤岡 真也	三谷 成人	中嶋 翠	中村 富美江
北條 正	平山 英一	増田 恵美子	林 恵子	池田 裕太郎
山東 隆明	中山 勝裕			（12名）

（令和3年度）

徳本 達之	藤岡 真也	矢田 弘	吉岡 恒雄	中村 富美江
北條 正	平山 英一	増田 恵美子	林 恵子	池田 裕太郎
山東 隆明	中山 勝裕			（12名）